



写真などの四角いフレームと一緒に飾るとバランスが取りやすく、初めての方にもおすすめです。

階段まわりやリビングなど、広い空間には大きなサイズ、またミニタリーなどには小さいサイズが合わせやすいです。刺しゅう枠に色をつけたり、紐をつけて吊るしたり、手作りキットを使ってオリジナル時計を作ったりと、アレンジも多種多様。季節や気分によって気軽に生地を替えられるのもいいですね。

小さくなった子ども服や、思い出のワンピース、お気に入りのハギレなどで作ってみてはいかがでしょうか。



1.
はじめに生地を裁断します。刺しゅう枠の直径+枠の厚み分+2センチほどの大きさがあるといいでしょう。切る前に生地の上に枠を置いて、柄の出方を確認します。薄手～中厚手であればほとんどの生地が使用できます。



じぶんで
彩る毎日
2

北欧の人々は、暮らしの中に小さな手づくりを取り入れるのがとても上手。料理や手芸、DIYなど、ほんの少し手を動かすだけで、生活も気持ちも豊かになります。一緒に、毎日を素敵に彩ってみましょう。



2.
刺しゅう枠の外側の金具を緩めて生地を挟みます。挟んだら軽く金具を締め、生地を外側にピンと張ります。更に金具を締め固定し、生地の端はテープなどで軽く抑えるだけで大丈夫。ストラップ柄、チェック柄などは生地の歪みが目立つので、ある程度慣れてから挑戦してみてください。



mjuk
～私のまわりから愛そう～

スウェーデン女性から学んだこれからの幸せのありかた。自分の愛すべきものに囲まれて暮らす彼女たちは、自然をいとおしみ、生活に取り入れるのがとても上手。季節の移り変わりを、身近な草花を通して楽しんでいます。自然の恵みを感じながら心に贅沢な時間を過ごすヒントが、ここにあるはずです。

mjukスペシャルサイト
www.swedenhouse.co.jp/mjuk/



PROFILE
柳沢小実
1975年 東京都生まれ
日本大学芸術学部 写真学科卒業
エッセイスト、整理収納アドバイザー
暮らしにまつわる著書多数

緑が深まり風薫る頃、外に出かけるのと同じくらい、家での時間も愛おしいものです。

色とりどりのファブリックパネルを作って、模様替えをしてみませんか。ファブリックパネルというと、四角いフレームに布地を貼ったものが一般的に知られていますが、今回ご紹介するのは、刺しゅう枠を用いた丸いもの。刺しゅう枠と生地を用意するだけでよく、お子さんも簡単に作れます。

3.
大きさ違いで数サイズ取り混ぜるとメリハリがつけます。大きな枠には大ぶりの柄を貼って、小さい枠に色や柄が強い生地を貼るとアクセントに。色合いを揃えると素敵に調和します。画紙や壁紙用両面テープで壁に飾って完成です。